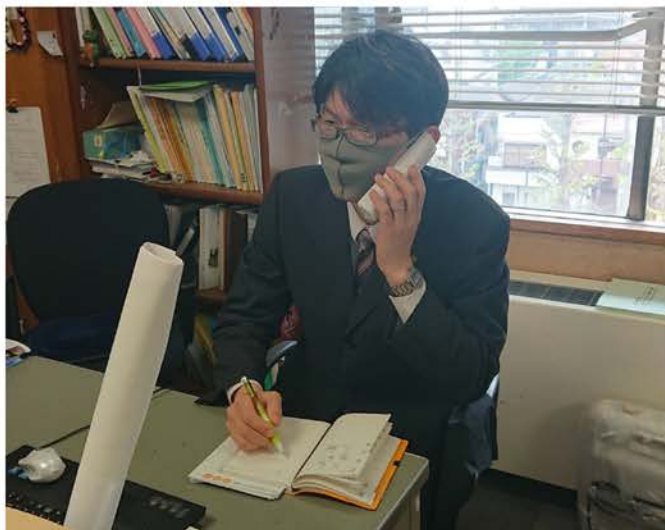


りょう なかつか亮



「お困りごとはありませんか」と聞き取り

新型コロナウイルス



共産党区議控室にて (なかつか亮)

◆感染爆発・医療崩壊を防ぐため ◆PCR検査センター設置 ◆自粛と補償はセットで

不安でいっぱい

日中、自宅で過ごしている高齢者に電話で状況を伺うと「もう不安で不安でいっぱいです。自分がいつ感染するのか、重症化したら、どうなるのか。一日中考えていると、気もめいってしまう」と話していました。

急いで対策強化を

新型コロナウイルスの感染が広がり、感染爆発・医療崩壊を防ぐための対策が急務です。

感染を検査するPCR検査について、これまでは検査を抑制し、これを受け品川区保健所でも、

四日以上の発熱や肺炎などの基準を設けるなど検査抑制を強めてきました。

そのため陽性が確認されても、その周囲にいる濃厚接触者でさえ、発熱などの症状が確認されないと検査はしないため(院内感染を除く)感染がさらに広がりました。

共産党は感染拡大を防ぐため、検査基準の改善、PCR検査センターの設置、軽症者をホテルなどに隔離する対策を提案。これらは自治体独自の判断で可能で、すでに検査センターを設置した自治体もあります。裏へ

検査体制強化を求める声も力に、ようやく品川区でも医師会の協力も得てPCR検査センター設置へ検討が始まりました。財源は、当面は補正予算で追加した予備費4億円が可能です。

また検査対象について、国の検査抑制への強い批判の声をうけ、ようやく対応策を変更する方向で検討が始まりましたが、いずれにしても対応スピードがあまりに遅すぎます。いわゆる「三密」をさけるなど住民への協力要請とあわせ“検査と隔離”を徹底する事が各国の対策を見ても大切です。

日常の医療や保健所などの社会保障の脆弱さが、こうした危機的な状況をより深刻化させているのではないのでしょうか。

適度な運動は必要

自宅で過ごす時間が長くなり、一歩も外出することがない高齢者も増え、日常の健康維持について危惧が広がっています。

品川区にも確認しましたが「三密」をさけつつ、例えば近所を散歩するなどの適度な運動は大切なことです。長期化が予測されるだけに、健康には十分に気をつけたいです。

自粛と補償はセットで

外出自粛や営業自粛が強調される中、飲食店からは「自粛と言われても、そもそも来店が減り、売り上げは半分以下に。休業したくても、無収入では家賃を払うこともできない」との声が寄せられています。

また大工や工務店、電

気屋さんは「海外からの部品が入らず、これでは仕事にならない」との声も寄せられています。

大学生からは「大学は休校で、バイト先は休業。学費を半額にするなど考えてほしい」との声もありました。

感染爆発を防ぐには、人の人との接触を8割抑えることが必要です。

だからこそ自粛要請は損失補償とセットでなければ実効性がありません。しかし国をはじめ、品川区も“補償”との考えがいまだなく、これではコロナ危機に対する姿勢が厳しく問われます。

◆ 住民の命、暮らし、営業を守るため、引き続き頑張ります。

なかつか亮

換気のために、窓を開けていると、飛行機の轟音が！ 羽田新ルートは、ただちに中止を

大井3丁目にお住まいの方から電話がありました。「コロナ対策で、換気のために窓を開けていたら、飛行機の轟音が鳴り響き驚いた。今は減便だけど、これが2分に1回も通過したら、たまったものではない。コロナで大変なのに、さらに飛行機の騒音で、二重の苦しみです。コロナも、羽田も、何とかしてほしい」と話します。

また日中、テレワークをしている方からも「仕事に集中できない」との声も。今の減便では、従前の海上ルートで航空機の需要は対応可能。羽田新ルート計画は、ただちに中止を！

なかつか亮 1975年品川区西大井生まれ/44歳/03年に27歳で初当選し、5つの常任委員会をはじめ、予算・決算委員会副委員長や行革特別委員会委員長を経験/区議5期/党区議団幹事長/家族：妻/29号線認可取消裁判原告/趣味：料理、旅行 